

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	とんとん		
○保護者評価実施期間	2025年11月1日	～	2025年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38名	(回答者数) 24名
○従業者評価実施期間	2025年11月1日	～	2025年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月19日		
○分析結果			
	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	プログラムがマンネリ化しないように様々な活動を行っている。	1つのプログラムに対して色々な内容を行っている。ご利用者様1人ひとりの特性に合わせた支援を行い、楽しく過ごせる環境を整えている。	季節や社会経験を意識した活動の導入でより質の高い支援の提供を目指す。
2	1年間を通して野菜を育てており、種を植えることや収穫などを行っている。	自分たちで育てた野菜を調理実習のプログラムで使用し、調理などをしてもらうことで食育を行っている。	季節に応じた野菜を育て、四季を感じられるように活動を行う。
3	お菓子を選ぶ際にコインを使用し、お買い物学習を行っている。	3コイン・2コイン・1コインのカゴにお菓子を分けており、自分で計算をしてお菓子を取ってもらうようにしている。	お買い物学習として実際のお店に行き、お買い物の練習を行うプログラムを更に取り入れていく。
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	バリアフリーではない。	建物が古く、賃貸のためバリアフリーの設備を整えることが難しい。	大きな改修はできないが、手すりなど最低限の環境は整えており、ご利用者様それぞれに合わせた介助を行っている。
2	STやOTなどの専門性に欠けている。	専門職を配置した場合のプログラムの整備や、ご利用者様に平等に利用していただくための日程調整等に課題がある。	専門職の職員はいないが、ご利用者様それぞれの特性に沿った支援を行い、専門的視点を意識して日々の関わりの中で工夫を行っていく。
3	地域との交流があまりできていない。	地域交流をする際の連携や準備ができていない。	地域で行われているお祭りなどの行事へ参加を検討し、地域交流する機会を作れるようにする。